

相談窓口のご案内

地域活性化に取り組む電源市町村が抱える問題や課題について、それぞれの地域が持つニーズに応じ、相談や要望が受け付けられるように、相談窓口業務を行っています。

相談コーナーの設置

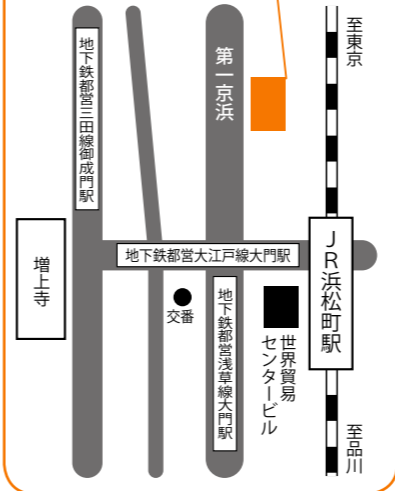
相談窓口は、電話やメールでも受け付けていますが、当センター内に直接対話できるよう「相談コーナー」を設置し、問題解決や課題克服に向けて当センターの持つ豊富な情報を提供しながら、解決策を見出す支援をいたします。

東京へお越しの際には、お気軽にお立ち寄り下さい。



相談コーナーにて、対話風景

財団法人電源地域振興センター
東京都港区浜松町 1-18-16 住友浜松町ビル6F



■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 振興業務課
 電話：03・5405・8115
 e-mail: youbou@dengen.or.jp まで

コンサルティング強化事業

また、相談窓口に寄せられた相談や要望に応じていくため、一市町村当たり三回を上限として専門指導員を派遣いたします。当事業には二通りの活動内容があります。

「コンサルティング強化活動」

電源地域の皆様が抱える問題の解決や課題の克服を目的として、当センターに寄せられた相談や要望に対し、必要に応じて内容に適した専門指導員を選定し、皆様の市町村へ直接派遣（アドバイザー）を行う。

「サポート活動」

過年度に当センターが実施した調査事業（電源地域振興指導事業）の成果を具現化するための地元市町村の取り組みに対して、各分野の専門の指導員を活用し、より効果的な地域振興の取り組みが継続的に推進されるよう支援活動の質的充実・強化に努めます。

「エネルギー人形劇」上演のお知らせ

この度、経済産業省 資源エネルギー庁の委託を受け、「エネルギー人形劇」を上演いたします。

この事業は、原子力発電施設等の新規立地・増設予定地域、プルサーマル計画の実施が見込まれる立地地域及び既設立地地域の次世代を担う子供達、将来、エネルギー・原子力、環境問題等について適切な判断・行動ができるように、エネルギー・原子力、環境問題等への関心を喚起し、正しい知識の普及啓発と理解促進を目的とするものです。

イベントに併せた上演も予定しておりますので、是非ご来場いただき、ご覧くださいませよう、ご案内いたします。

対象 象：未就学児・小学生（二年～三年）および保護者

■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 普及啓発課
 電話：03・5405・8128
 e-mail: tukiyu@dengen.or.jp まで

イベント名	お問い合わせ先	日程	上演回数
青森県むつ市「消費生活展」	むつ市商工観光課 0175-22-1111	10月6日(土)	午前、午後の計2回/ 各回30分程度
福井県高浜町「親子ふれあい広場」	高浜町教育委員会事務局 0770-72-2888	10月21日(日)	
愛媛県伊方町「町民文化祭」	伊方町政策推進課原子力対策室 0894-38-0211	10月28日(日)	
福島県大熊町「ふるさとまつり」	大熊町商工会観光協会事務局 (大熊町商工会内) 0240-32-2870	11月3日(土)	
静岡県御前崎市「産業まつり」	御前崎市商工観光課 0537-85-1135	11月25日(日)	

イベントの詳しい開催場所や上演時間につきましては、各市町村担当窓口までお問い合わせください。

「エネルギープラザ2007」開催のお知らせ

平成十九年十一月一日(木)・二日(金)の両日、経済産業省 資源エネルギー庁の委託を受け、「エネルギープラザ2007」を開催いたします。

この事業は、全国の電源立地地域の自治体職員や地域振興の関係者を対象として、地域振興に資する講演及び地域振興の先進事例の紹介・情報提供等の内容による検討会を実施することにより、参加者の地域振興に関する実践力を高め、自治体職員間等の情報交換を図ることを目的としております。

つきましては、多数ご参加いただきますよう、ご案内いたします。

開催地：東京都目黒区
 こまばエミナース
 主催：経済産業省

■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 普及啓発課
 電話：03・5405・8128
 e-mail: enepla@dengen.or.jp まで

日程	プログラム	時間	会場
11月1日(木)	開会式	15:15～15:25	こまばエミナース 大ホール
	オリエンテーション	15:25～15:30	
	基調講演	15:40～16:25	
	パネルディスカッション	16:25～17:10	
	交流会※	17:30～19:00	ダイヤモンド・ルーム
11月2日(金)	体験交流事業検討会	9:30～16:30	鳳凰の間
	広域観光検討会		飛鳥の間
	漁業振興検討会		孔雀の間
	特産品開発検討会		瑞鶴の間
	交流事業開発検討会		東雲の間
	循環型地域づくり検討会		ダイヤモンド・ルーム

※交流会は (財) 電源地域振興センター主催

●詳細は当センター HP → <http://www.dengen.or.jp/> をご覧ください。

平成19年度下期原子力発電施設等 周辺地域企業立地支援給付金について

本制度は、原子力立地地域における雇用機会の創出と産業振興を図るため、雇用の増加を生む企業に対して、一定期間にわたって、企業の支払った電気料金に基づき、道府県が給付金を交付する制度です。当センターでは道府県からの要請を受けて交付事務・審査事務を行っています。

平成19年度下期募集は、平成19年10月頃行われる予定です。

交付対象地域

電源地域のうち一定規模以上の原子力発電施設、核燃料サイクル施設の設置が行われている地域または設置が予定されている地域。

主な補助要件

【電力契約】
 新規立地または増設に伴う電力契約の新設または増設をしていること。

【対象となる電気料金】
 ①平成19年4月1日～9月30日に支払った電気料金であること。

②申請者が直接契約しているものであること。

③産業用途の電力契約で、臨時契約等期間に制限があるものでないこと。

【雇用】
 雇用者(雇用保険の一般被保険者)が3人以上増加すること。

【交付対象期間】
 初回申請から原則8年の間で、条件を満たす期間については、継続して交付を受けることができます。ただし、前述のとおり、電気料金の支払実績に基づいて金額が決まりますので、年度(通常上期・下期の年2回)申請して頂く必要があります。

●交付限度額

次の(1)、(2)のうち低い額を交付限度額とします。

■お問い合わせ先
 (財)電源地域振興センター 立地審査課
 電話：03・5405・8113
 e-mail: ritti@dengen.or.jp まで

(1) 式①により求めた金額を、表①の区分に当てはめ算定単価を求め、次に式②に算定単価を当てはめ、金額を算定します。

式①	実支払電気料金(※1) 需給契約に基づく契約電力(※2)×電気料金支払月数(※3)	
表①	区分	算定単価(※4)
		A B
	1,500円未満	750円 375円
	1,500円以上2,500円未満	1,000円 500円
	2,500円以上3,500円未満	1,500円 750円
	3,500円以上4,500円未満	2,000円 1,000円
	以後、1,000円ごとに区分	以後、500円ずつ加算 以後、250円ずつ加算

※1. 対象期間に支払った税額等を除く電気料金(ただし、増設の場合は既設相当分を除く)
 ※2. ※1の支払月における契約電力の平均(ただし、増設の場合は既設相当分を除く)
 ※3. ※1の電気料金支払月数
 ※4. 交付対象地域により、算定単価Aまたは算定単価Bが適用されます。
 ※5. ※2の契約電力と下表の区分に応じた契約電力の上限のうち、いずれか低い数値とします。

区分	上限
3人以上20人未満	1,500kW
20人以上	2,500kW

※6. 電源立地地域対策交付金の交付対象地域における交付金単価

←ここで算出された金額が(1)の値

式② 契約電力(※5) × [算定単価A又はB-交付金単価(※6)] × 月数(※3)

(2) 実支払電気料金(※1)

「新潟県 柏崎市・刈羽村 震災復興事業」を実施しました

新潟県・柏崎商工会議所からの要請を受けて、平成十九年八月二十二日(水)から二十六日(日)の間、イトーヨーカ堂ららぽーと横浜店イベント会場にて、「新潟県 柏崎市・刈羽村 震災復興事業」を実施しました。



イベント会場には柏崎市・刈羽村のPRとして、震災時から復興に向けての様々な活動や復興状況の写真をパネルにし展示しました。来場者からは「新聞、テレビで知る情報と異なり、パネル写真を目の当たりにすると被害の大きさを実感しました」との声が聞かれるなど、多数の来場者がパネルの前で足を止めていました。

また、二十五日、二十六日の両日には、パネル展示と合わせて、柏崎市市の十四事業者を

対象に、「対面販売チャレンジ」を実施し、イトーヨーカ堂のバイヤーや催事マネージャーによる商品陳列や商品PRの仕方などのアドバイスがありました。初日より、米や海産物などの追送がかかるほど、予想を上回る売れ行きとなりました。この場をお借りして、この度の新潟県中越沖地震により被害を受けられました皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

「夏休み親子体験学習会2007 in東京」を開催しました

経済産業省 資源エネルギー庁の委託を受け、七月三十日(月)、三十一日(火)の両日、「夏休み親子体験学習会2007 in東京」を開催しました。



▲チームに分かれて鉄道模型を走らせる
▲最終日、小森先生と一緒に集合写真

この事業は、原子力発電施設等の新規立地・増設予定地域、プルサーマル計画の実施が見込まれる立地地域及び既設立地地域の次世代を担う子供達が、将来、エネルギー・原子力・環境問題等について適切な判断、行動ができるように、エネルギー・原子力、環境問題等への関心を喚起し、正しい知識の普及啓発と理解促進を目的とするもので、厳正な抽選で選ばれた小学校四〜六年生の親子二十六組に参加いただきました。



三十日は渋谷にある電力館で原子力・地球環境について楽しく学ぶとともに、夜は手回し発電機を使った鉄道模型



電力館で発電機について学習

また、その間、保護者は経済産業省との意見交換会を実施し、日頃感じていた疑問などを話し合っていました。三十一日は科学技術館で放射線や原子力のしくみなどについて知識を深めていただいた後、小森栄治先生によるワークショップを開催し、プルサーマルについて楽しく学んでいただきました。

Vol.8 読者の声から

「PickUp」で取り上げた産学官連携で漆器産業の活性化に取り組む会津若松市「會、S N E X T」事業の記事を拝読いたしました。いろんな枠を越え、その先の本当に良いものを追求することが大切だと思います。私の住む洞爺湖町では来年のサミットを控え、世代や職柄の枠を越えて、ふるさとの良い点、誇りになる点を見直していきたいと思っています。
(北海道洞爺湖町 女性)

【お知らせ】

前号「電気のふるさとVol.8」の巻頭ページ「人」にご登場いただきました下平尾勲(しもひらお・いさお)さんが9日、内臓疾患のため享年六十九歳にて、ご逝去されました。ご執筆をお願いいたしました折には、とても元気なご様子でしたので、突然の訃報に接し、センター一同悲しみでいっぱいです。先生のご冥福をお祈りするとともに、生前のご厚誼を深謝し、謹んで皆様にお知らせいたします。

【読者プレゼント】

今号の特集「Pick Up」にご登場いただきました高知県黒潮町のご厚意により、「おおがたはがき」を五名様にプレゼントいたします。とじ込みのアンケートハガキに本紙へのご意見、ご感想などをご記入の上、平成十九年十月二十日(消印有効)までにお送りください。なお、当選の発表は発送をもって代えさせていただきます。

from the Center

人事往来

●経済産業省(平成19年5月～7月)抄

○平成19年6月17日付発令

氏名	(新)	(旧)
中村 講治	資源エネルギー庁電力・ガス事業部電源地域整備室長	資源エネルギー庁長官官房会計室長
草野 祥二	退職	資源エネルギー庁電力・ガス事業部電源地域整備室長

○平成19年7月1日付発令

野口 哲男	中部経済産業局地域経済部長	大臣官房参事官(原子力立地担当)兼電力・ガス事業部付
-------	---------------	----------------------------

○平成19年7月9日付発令

舟木 隆	中小企業基盤整備機構(理事)	資源エネルギー庁電力・ガス事業部長
------	----------------	-------------------

○平成19年7月10日付発令

寺坂 信昭	大臣官房商務流通審議官	原子力安全・保安院次長
薦田 康久	原子力安全・保安院長	原子力安全・保安院審議官(原子力安全・核燃料サイクル担当)
広瀬 研吉	退職	原子力安全・保安院長
木村 雅昭	大臣官房審議官(商務情報政策局担当)	資源エネルギー庁長官官房総合政策課長
宮川 正	経済産業政策局経済産業政策課長	資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課長
柳瀬 唯夫	経済産業政策局企業行動課長	資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課長
赤津 光一郎	東北経済産業局長	大臣官房参事官(商務流通グループ・総合調整担当)

藤田 昌宏

関東経済産業局長兼総務企画部長

大辻 義弘

中部経済産業局長

杉田 定大

中国経済産業局長

細川 政弘

四国経済産業局長

谷 重男

九州経済産業局長

安藤 久佳

資源エネルギー庁長官官房総合政策課長

西山 英彦

資源エネルギー庁電力・ガス事業部長

後藤 収

資源エネルギー庁電力・ガス事業部政策課長

吉野 恭司

資源エネルギー庁電力・ガス事業部電力基盤整備課長

高橋 泰三

資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課長

渡邊 厚夫

資源エネルギー庁電力・ガス事業部放射性廃棄物等対策室長

鈴木 正徳

原子力安全・保安院次長

佐藤 樹一郎

経済産業研究所(副所長)

長谷川 英一

大臣官房付・退職

脇本 真也

大臣官房付・退職

宮下 英治

大臣官房付・退職

塚本 芳昭

大臣官房付・退職

川口 修

大臣官房付・退職

「おおがたはがき」とは、砂浜美術館オリジナルの36.5cm×51.5cmサイズのハガキです。我が家のテレビ画面より「おおがた」かも。ポスターとして部屋に飾るもよし、140円切手を貼って送るのもよし!砂浜美術館の素晴らしいアートがご覧いただけます。どんなアートが届くかは、当選してのお楽しみです(^-^)